【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成27年9月24日(2015.9.24)

【公開番号】特開2014-86181(P2014-86181A)
【公開日】平成26年5月12日(2014.5.12)
【年通号数】公開・登録公報2014-024
【出願番号】特願2012-232220(P2012-232220)
【国際特許分類】
Ｆ２１Ｓ　2/00　(2006.01)
Ｆ２１Ｙ 101/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２１Ｓ　2/00　２３０
Ｆ２１Ｙ 101:02

【手続補正書】
【提出日】平成27年8月3日(2015.8.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
一端部に給電用口金を有し他端部に保持用口金を有して給電用口金のみから給電を行う直管型ＬＥＤランプが適用される照明装置であって、
前記給電用口金を保持する給電ソケットと、前記保持用口金を保持する絶縁性の保持具を備え、
前記保持具は、前記保持用口金に突設された保持ピンを回転可能に挟持する挟持具を備えていることを特徴とする照明装置。
【請求項２】
前記挟持具は、外側に屈曲した左右の弾性保持片を有しており、該弾性保持片の屈曲部において前記保持用口金の保持ピンを挟持することを特徴とする請求項１に記載の照明装置。
【請求項３】
前記挟持具は、左右の弾性舌片を有しており、該弾性舌片の途中に形成された係止手段において前記保持用口金の保持ピンを挟持することを特徴とする請求項１に記載の照明装置
【請求項４】
前記保持具は、前記保持用口金に突設された保持ピンを挿入する案内溝を有しており、該案内溝は、前記保持ピンの保持位置方向に移動可能となるように屈曲しており、前記保持ピンの保持位置に該保持ピンの係止手段を設けたことを特徴とする請求項１に記載の照明装置。
【請求項５】
前記案内溝は略ム字状に屈曲していることを特徴とする請求項４に記載の照明装置。
【請求項６】
前記案内溝はＳ字状に屈曲していることを特徴とする請求項４に記載の照明装置。
【請求項７】
前記案内溝における前記保持ピンの保持位置を弾性的に押圧する押圧手段を設けたことを特徴とする請求項４～６のいずれかに記載の照明装置。

【請求項８】
前記保持具は、当該保持具を照明器具に装着するための器具装着部と、前記保持用口金を収容する筒体である保持部とを有し、
該保持部は、前記器具装着部に対して傾動可能であることを特徴とする請求項１に記載の照明装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
請求項１に記載の発明あたっては、一端部に給電用口金を有し他端部に保持用口金を有して給電用口金のみから給電を行う直管型ＬＥＤランプが適用される照明装置であって、前記給電用口金を保持する給電ソケットと、前記保持用口金を保持する絶縁性の保持具を備え、前記保持具は、前記保持用口金に突設された保持ピンを回転可能に挟持する挟持具を備えていることを特徴とするものである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
請求項２に記載の発明にあたっては、前記挟持具は、外側に屈曲した左右の弾性保持片を有しており、該弾性保持片の屈曲部において前記保持用口金の保持ピンを挟持することを特徴とするものである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
請求項３に記載の発明にあたっては、前記挟持具は、左右の弾性舌片を有しており、該弾性舌片の途中に形成された係止手段において前記保持用口金の保持ピンを挟持することを特徴とするものである。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
請求項４に記載の発明にあたっては、前記保持具は、前記保持用口金に突設された保持ピンを挿入する案内溝を有しており、該案内溝は、前記保持ピンの保持位置方向に移動可能となるように屈曲しており、前記保持ピンの保持位置に該保持ピンの係止手段を設けたことを特徴とするものである。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】

請求項５に記載の発明にあたっては、前記案内溝は略ム字状に屈曲していることを特徴とするものである。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
請求項６に記載の発明にあたっては、前記案内溝はＳ字状に屈曲していることを特徴とするものである。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
請求項７に記載の発明にあたっては、前記案内溝における前記保持ピンの保持位置を弾性的に押圧する押圧手段を設けたことを特徴とするものである。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
請求項８に記載の発明にあたっては、前記保持具は、当該保持具を照明器具に装着するための器具装着部と、前記保持用口金を収容する筒体である保持部とを有し、該保持部は、前記器具装着部に対して傾動可能であることを特徴とするものである。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】